

北海道秋の学び推進月間の取組

釧路教育局
平成29年12月8日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の育成を目指しています。

「北海道教育の日」（11月1日）から始まった「北海道秋の学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 白糠町立庶路小学校の取組

地域と連携したふるさと教育の取組

本校では、児童に地域への愛着や誇りを育むため、ふるさと教育の充実に取り組んでいます。10月28日（土）に行った「ふるさと参観日」では、第5・6学年の児童と保護者が、白糠町アイヌ文化保存会の方々を講師に「アイヌ文化体験教室」を行いました。児童と保護者が一緒にアイヌ伝統の歌や踊りを鑑賞したり、ムックリの演奏や踊りを実際に体験したりするなどして、アイヌ文化に対する理解を深めました。



【ムックリ演奏体験の様子】

○ 北海道釧路商業高等学校の取組

国際ビジネス科の国際交流に関する取組

今年度から、国際ビジネス科では実践的・体験的学習を取り入れることにより、コミュニケーション能力等の育成を図り、地域に有用な人材育成を目指す取組を行っています。その一環として、釧路に寄港する大型客船の外国人旅行者に対し、着物の着付けや書道、折り紙、アイヌ文様などを紹介したり、体験してもらったりする国際交流に関する授業を行い、生徒が積極的に外国人と交流しました。



【国際交流授業の様子】

○ 北海道釧路鶴野支援学校の取組

「つるクール食堂」の取組

高等部福祉サービス科では、株式会社美警や釧路短期大学と連携し、コア鳥取を会場に「つるクール食堂」を実施しました。生徒は作業学習を生かして、配膳や接客を行い、食事やコーヒーの提供などで、客をもてなしました。活動を通して、より実践的な接客を経験することはもとより、客と直接触れ合い、喜んだ顔を見ることで満足感を味わい、大変良い経験となりました。



【活動の様子】

「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 釧路市立北中学校1年 三村侑生さん

「広げよう 学びで自分の可能性」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆

鶴居村立鶴居小学校2年 藤原拓也さん 「読書のめ あゆみつづける だい一步」

釧路明輝高等学校2年 小川真奈さん 「勉強は 未来の扉を ひらく鍵」

釧路明輝高等学校3年 中山亜友菜さん 「日々学び 知識積み上げ 道つくる」

釧路工業高等学校2年 樋口空さん 「なんでだろう この感情を大切に」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございます。ありがとうございました。

